

# 令和4年度 赤穂市学校(園)評価報告書

学校園名 赤穂市立赤穂西小学校

## 1 本年度の学校(園)経営方針

「『確かな学力』と『豊かな心』をもち、夢に向かって進もうとする児童の育成」の学校教育目標のもと、個別最適な学び・協働的な学びとその往還から、自ら学ぼうとする児童の育成を図ると共に、互いの個性を認め合い、共に伸びていくこととする仲間づくりを推進する。また、「地域に愛され 地域と共に創る学校」を目指し、コミュニティ・スクール活動を推進すると共に、ふるさとを大切にすることを児童の育成を図る。

## 2 本年度の学校(園)重点目標

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) ふるさとを愛する心の醸成
- (5) 働きがいのある職場づくり
- (6) 保護者や地域に信頼される学校づくり

## 総合的な学校園関係者評価

- ・少人数のメリットを生かして児童に寄り添い教育指導、生徒指導、そして地域とのつながりを大切にした教育は高く評価しています。
- ・少人数のメリットを生かし、児童との関わりが良くできていると思います。これからも更に児童数が減少すると思いますが、少人数でなければ出来ない体験を子どもたちにさせて感情豊かな子どもを育てていただきたいと思っています。また、学校だより「西風」で学校での行事が分かりやすく発信されていると思います。
- ・少人数の強みを生かした取組のあとが見える。今後とも少人数のメリットを生かした指導取組をお願いしたい。今後とも、教育環境の変化に適切な対応をお願いしたい。
- ・施設などでも大部屋から個室へファミリー的な小グループでの生活にシフトチェンジしている中で学校も大規模より小規模な学校が望まれるようになってくると思います。先生方それぞれ自分の受け持つ子以外の児童にも目を配り寄り添っておられること、保護者も我が子だけでなく他の子にも声をかけ気にかけておられる姿が良く見受けられ、すばらしい環境で子どもたちものびのび学校生活・地域生活が出来ていると思います。
- ・西小学校の良さ(少人数・地域との関わりなど)を生かし、学校教育を行っていることがよく理解できた。改善の方策も具体的に考えられ来年度への取組に生かされることと思う。
- ・コロナ禍の中で色々な活動に制限があり、生徒の指導、行事等の計画立案に苦慮されたと考えられますが色々工夫され実行できたことは良かったです。地域に根ざした取組がコロナ禍で難しいことも多いですが、今年は学校外へも出て行き子どもたちにとって良い刺激になったと思います。来年度はもっと地域に出られると良いですね。電車などを使っての校外学習はマナーも学びながら地域の人達とも交流ができたと思うので、これからも続けてほしいです。
- ・西部地区は、開校当時から先人達が他地区にはない関わり方をしていると思います。西部地区まちづくり連絡協議会も創立当時から「西部の子は西部で守る」をモットーとしています。今後も連携を強くコミュニティ・スクール活動等を推進し、児童達が健やかに育つ環境づくりに努めましょう。
- ・児童が元気に明るくあいさつが出来ているのは、ひとえに学校経営が良いのではないですか。努力に感謝いたします。
- ・大事な点は児童自身が成長や変化をかんじられているかという点だと思います。この点を客観的に評価できる仕組みが必要かと思えます。
- ・小規模校というメリットを生かして、もう少し地域の人にも子どもたちの様子を見てもらえる機会があればと思います。

## 学校園関係者評価

3 自己評価結果 (A~D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切でない ×:適切でない

観点(重点目標)	評価項目(学校園・教師の取組) 評価指標および目標値(期待される姿)	評価資料	達成状況	改善の方策
確かな学力の育成	項目 児童の「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業の創造に努めているか。 指標 単元・授業の中に、児童の個別最適な学び・協働的な学びが見られる。	研究授業 研究テーマシート 児童の様子 学習成果物	A	・特別支援教育に精通した職員と協働し、個に応じた指導方法を模索した。例えば、「通常学級で役立つ算数障害の理解と指導法」を活用し、児童の特性を把握した上で、授業づくりを行った。また、自由進度学習を取り入れ児童が自分に合った学習進度を考え、主体的に授業に参加することができた。 ・ICTについての校内研修を行い、職員のスキルアップにもつながった。 ・一人一人にきめ細やかな指導を行える少人数のメリットを最大化するため、取組の精緻化を進める。
	項目 基礎・基本の力の定着と向上のため、適切な指導・支援を行っているか。 指標 児童は、学年相応の計算・漢字を8割以上習得している。	児童個人カルテ テスト 学習成果物	A	
	項目 ICTを効果的に活用した学習活動の推進に努めているか。 指標 児童は、クラスルーム・スクールタクト・デジタルドリル等を使って学習している。	市内活用状況表 研究授業 ICT研修	A	
豊かな心の育成	項目 人権教育を推進し、児童の居場所づくりと、互いの個性を認め合える態度を育成することができているか。 指標 児童は、明るくいきいきと学校生活を送っている。自己有用感・自尊感情が育っている。	児童の様子 自分見つけアンケート	A	・月1回の校内委員会で、全職員が共通理解を図り、見守りができている。 ・不登校傾向の児童に対し、家までの迎えや保健室での学習の対応など担任だけでなく学校全体で関わることで、児童の登校できる日が増えてきた。 ・全職員の協力の下、ありがとうプロジェクトを1学期2学期と実施してきた。先生方の温かく前向きな言葉がけで、カードをもらった児童の表情はとても明るく嬉しそうに見受けられた。今後、より多くの児童に届く企画となるよう学校として考えていきたい。 ・昨年度の改善の方策から、地域の方から話を聞く機会を設けた。来年度以降も継続して取り組み、自己のキャリア形成に多様な大人が関わる機会を、意図的に設けていく。
	項目 道徳教育の充実を図り、考え議論する道徳の時間の充実に努めているか。 指標 児童は、道徳的諸価値について理解し、考えを言語化して伝え合い、深めている。	児童の様子 自分見つけアンケート 道徳ノート	A	
	項目 いじめ・不登校問題について全職員で共通理解し、組織的、積極的な対応をしているか。 指標 児童・保護者は、悩みやしんどさを学校や関係機関に相談している。	児童の様子 いじめ・不登校対策及び生活指導委員会 月1アンケート	A	
	項目 特別な支援を要する児童について全職員で共通理解し、目標を立てて指導・支援を行っているか。 指標 教職員と特別な支援を要する児童が目標を共有し、達成に向けて取り組んでいる。	児童の様子 個別の指導計画 特別支援教育校内委員会	A	
	項目 目標を明確にし、特別活動を要しつつ教育活動全体を通してキャリア教育に取り組んでいるか。 指標 児童は、自己の将来像を描き、学ぶことや働くことの意義・役割を理解している。	児童の様子 キャリア・パスポート キャリアノート	B	

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎11 ○2	◎8 ○5	・少人数のメリットを今後とも最大限に活かすことを望みます。その為にも、小中学校の統廃合は望ましくない。 ・多様化した教育方法で、我々では理解できないことも多くなってきていますが、よく考えられて行われていると感心します。
◎11 ○2	◎9 ○4	・児童が明るく生き生きと学校生活を送れることが一番幸せである。 ・今後も自分見つけアンケートの実施継続をお願いいたします。 ・改善の方策を読んで、不登校傾向の児童が居るのであれば来年度、改善に向けて頑張ってください。

観 点	評 価 項 目 (学校園・教師の取組) 評 価 指 標 および 目標値 (期待される姿)	評価資料	達成状況	改善の方策
健やかな体の育成	項目 指標 児童は、「全員遊び」、「なかよし遊び」、縄跳びやマラソン等に積極的に取り組んでいる。	児童の様子 体育・保健学習の振り返り 縄跳びがんばり表	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健「けんこうな生活」の学習を参観日で実施することにより、健康を保つため、早寝・早起き・朝ごはんについて考える機会をもてた。来年度は、給食指導の時間や学校保健委員会等を活用し児童への啓発を図っていく。</li> <li>・体育「体づくり」の領域で、持久走に全校で取り組んだ。ワークシートを活用して、個々の目標を設定しペアでタイムを記録しながら体力の向上に励んだ。家でもランニングに親しんだりする児童も増えた。</li> </ul>
	項目 指標 児童は、自分の体や健康について理解し、感染症対策等自己の健康管理に取り組んでいる。	児童の様子 保健学習の振り返り 生活表	A	
	項目 指標 児童や保護者は、「早寝・早起き・朝ごはん」運動に積極的に取り組んでいる。	児童の様子 早寝・早起き・朝ごはん表 保護者アンケート	B	
ふるさとを愛する心の醸成	項目 指標 児童は、地域での体験活動や、保護者・地域の方との交流を通して学んでいる。	児童の様子 生活・総合等での振り返り 学校・学年だより	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生のピシャコ岩登山では、理科や総合との関連を図り取り組んだ。また、3年生総合の時間においては、「福浦ふっくらコットン」代表の奥道さんから綿の育て方について学んだ。地域を活性化させようと尽力されているという話も聞くことができ地域について知る機会となった。来年度は他学年でも交流の機会を増やしていく。</li> <li>・児童のあいさつについてはPTAを通じ保護者に向けての啓発も強化する。</li> </ul>
	項目 指標 児童は、「さんぼ・一声運動」や「あいさつ運動」の趣旨を理解し、地域の方に挨拶している。	児童の様子 生活表 あいさつ運動 保護者アンケート	B	
教職員が働きやすい職場づくり	項目 指標 教職員は、業務改善推進委員会を定期的に実施している。定時退勤日・ノー会議デーを実施している。	教職員の様子 業務改善推進委員会 記録簿	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの教員にも報告や相談がしやすい。また、共通理解が必要な件に関しては、回覧等で必ず情報を提供する環境も整っており、児童や保護者へのきめ細やかな支援に繋がっている。</li> <li>業務改善によって、職員に余裕が生まれ、子どもの良さを見つけて褒める良い循環ができています。来年度は行事前など忙しいときに、余裕をもてるよう心の業務改善を進めて行く。</li> </ul>
	項目 指標 教職員は、学校行事、研究推進等円滑な学校運営のため、協力して機動的に対応している。	教職員の様子 業務改善推進委員会 記録簿	A	
保護者や地域に信頼される学校づくり	項目 指標 教職員は、研究主題に向かって、計画的に研究授業や研修会を実施している。	研究授業 研修会 研究テーマシート ふりかえり	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業後の振り返りシートを書くことで、研究主題の具現化のため、自分の実践を再度点検することができている。</li> <li>・学校便り「西風」の発行により、教育活動への理解を促すと共に、地域の様々な人材に対し、授業等幅広く協力を求め、開かれた学校づくりを進めている。来年度も様々な人材を地域から募り、「地域で学ぶ・地域から学ぶ・地域と共に学ぶ」取組の充実を図っていきたい。</li> <li>・自分のクラスだけでなく、他の学年の指導にも、様々な教員が関わっているのは、資質向上にもなるし、保護者の信頼感にもつながっている。</li> </ul>
	項目 指標 学校は、学校評価結果や改善方法について、学校運営協議会・HP等で説明している。	学校評価 学校だより 学校運営協議会 HP	A	
	項目 指標 教職員は、安全点検を月1回実施したり、危機管理マニュアルに基づいた訓練を実施したりしている。	危機管理マニュアル 安全点検簿 訓練	A	
	項目 指標 学校は、通信やHPを定期的に発行し、学校の様子や考えを伝えている。	学校・学年だより HP メール	A	

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎11 ○1	◎8 ○4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で運動不足になっており、ゲーム等で外で遊んでいる傾向である。学校以外でも(毎日10分でも)何か運動をし、記録表にて継続し、もっと外で運動を行い、体力を付けてほしい(健康な体を)</li> <li>・少人数の弱点となる競争することももう少しは必要かと思えます。</li> <li>・大半を過ごす家庭内の改善が必要だと思ふ。共働き家庭が大半で、皆忙しい日々の中、早寝、早起き、朝ごはんの生活習慣も、なおざりになっているのではないのでしょうか。</li> <li>・マラソン大会、なわとび大会etc…競うという機会が少ないので、競争心というものではなくてもいいのかと心配になります。</li> </ul>
◎11 ○1	◎9 ○3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綿を育てそのあとの活用法も続けて学んでいけたらいいと思えます。綿から糸をつくり、その糸を染め織物にする。福浦にもたんつ工房があるので、赤穂緞通の学習にもつながる。</li> <li>・コロナの関係で地域の行事が出来ていない。来年こそ、年若い人、成人(子ども・保護者)がみんな楽しんで参加してもらいたい。秋祭り、獅子舞、スポーツクラブ21、盆踊り、地藏盆、ふるさとまつり、敬老会、元旦登山</li> <li>・親の活躍や声ももう少し聞こえるような内容もあればいいかと思ふ。</li> <li>・コロナ禍が落ち着いてきており、規制も緩和されてきたので、時間が許す限りもっと地域の学習、交流を増やしていく。もっとちがう魅力の発見も必要。</li> </ul>
◎11 ○1	◎10 ○2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからもコミュニケーションを大切に</li> </ul>
◎11 ○1	◎11 ○1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりの「西風」の発行でとても学校の様子がわかり嬉しく思います。</li> <li>・少人数校でもしっかりやれていると思えます。</li> </ul>

#### 自己評価における特記事項

<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は少人数のメリットを生かすためにどのような取組ができるのかを考え実践を行っている。例えば、4年生の桃井ミュージアムの見学では焼き物体験を行ったが、多人数では体験することはできない。3年生の赤穂緞通の手織り体験も多人数ではできない。少人数のメリットを生かし、体験的な学習を設定することができた。また個別に支援が必要な児童に対しては、個に応じた指導支援にあたることができている。少人数のメリットを指導にも生かすことができている。さらに、個に応じた指導支援は教師の力量を高めることにもつながっている。</li> <li>・漢字の小テストでは、問題数を減らし確実に覚え、継続できるように実施している。また、学びを支えるスキルの向上を目指し、集中力を身に付けるためのトレーニングを学習タイムを活用し継続的に行っている。</li> <li>・特別支援教育に精通した職員と話し合いながら、児童の実態をつかんだり、その実態に応じた指導を行うよう心がけたり実践したりしている。</li> <li>・体育「体づくり」の領域で、学習児童要領に則り持久走に全校で取り組んだ。ワークシートを活用して、個々の目標を設定しペアでタイムを記録しながら体力の向上に励んだ。</li> </ul>
--

#### 項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模校の良さをより高めて、西小らしさを大切にしていって下さいませように。</li> <li>・多種多様な児童に少ない職員での対応は大変ですが、よろしくお願ひします。</li> <li>・色々な体験を行うことでものすごく成長すると思う。そして、将来の自分探し、希望、夢が見えるのでは。多く体験ができるといいですね。</li> <li>・保護者アンケートの中、家庭学習(宿題)と読書に関する項目で、Cの割合の多さが少し気になります。</li> <li>・年々児童数が減少し、児童同士のトラブルや競争がなく、皆が平均して良い子すぎる様な気がする。学習面では良いかもしれませんが。</li> <li>・メリットにはデメリットもあります。現状のメリットを生かすと共に、デメリットにも目を向け、メリット探しにならないように気をつけましょう。</li> <li>・自己評価結果については、全てほぼ適切と思ひます。ただ、「さんぼ・一声運動・あいさつ運動」は、今後も課題では。年代が違えば(顔見知りでなければ)双方とも躊躇します。地域とのふれあいの機会を大いに利用して互いに理解するようにしたいものです。</li> </ul>
---